

令和6年度 定時総会のお礼について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、会員の皆様には、本会の活動にご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、去る1月13日に開催いたしました令和6年度定時総会につきましては、皆様方からの事前の議決権及び委任状の行使に加えて会員47名のご出席により開催し、4件の議案について審議が行われましたが、お陰様ですべての議案についてのご承認と、4件の事項の報告が行われ、無事に総会を終えることができました。

これも皆様方のご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

また、総会終了後、任意団体の規程に基づき団体の解散について可否を諮ったところ、解散することに対する賛同の意思表示として挙手や拍手ではなく、諸先輩たちに対する敬意を表して、全員起立をもって決議することができたことは感慨深く、同時に、本会を代表する立場にあることに身の引き締まる思いであったことは過言ではありません。

一般社団法人 PGA 北海道プロゴルフ会は、昨年7月に半世紀以上の伝統と歴史のある本会の前身のプロ会が築いてきたレガシーを継承・発展させ、ゴルフの価値を更に高め、会員の社会的な地位の向上を図ることを目的に会員は基より、現在、顧問に就任していただいている小笠原先生や鎌倉先生のご協力により設立し、ゴルフをこよなく愛し、ゴルフから幸福感を得ている会員皆様が、今こそゴルフに恩返しのできるスキームをもった組織です。

一般社団法人化により、社会的な地位を有した組織となりましたが、法的な規制も発生しており、コンプライアンスの遵守が求められているところです。

一般社団法人PGA北海道プロゴルフ会の会員におきましては、ゴルフ競技のプロフェッショナルとしてのプライドを持ち、社会的な使命を自覚するとともに、改めて、本会の設立趣旨、活動意義を十分ご認識していただき社会からリスペクトされるよう努めていただきたいと願っております。

スポーツは心と身体に健康に寄与し、「取り組む人」、「見る人」に大きな感動を与えます。

本会といたしましても、ゴルフ振興の観点から「楽しさ」や「喜び」といったゴルフの価値を広め、性別、年齢、障害の有無にかかわらず、様々な立場の人が「ともに（共に）」ゴルフを楽しむ環境づくりを行い、スポーツを活用した「まちづくり」を積極的に行う自治体を応援するため、「ゴルフ体験会」「子供レッスン会」など道内各地で開催されるイベントに、会員のご協力をもって活動していくこととし、地域や経済の活性化を促す取組についても積極的に関与していきたいと考えております。

今後ともご理解とご協力方、よろしくお願い申し上げます。

令和7年1月吉日

代表理事 千葉晃太